

福山都市圏の幹線道路網の整備概要

福山市域では、福山都市圏の交通の円滑化や交通ネットワークの強化、災害時の代替路の整備等を旨として、都市計画決定された主要幹線道路（下図に着色している4路線）の整備に取り組んでいます。

そのうち、実線で着色している道路（事業化区間）では、現在、測量や調査、用地買収、工事などを行っています。

また、破線で着色している道路（未事業化区間）では、測量や調査、用地買収、工事などの段階には至っておらず、事業化の検討を行っています。



図 福山都市圏の主要幹線道路の整備状況

それぞれの道路の概要は次のとおりです。

① 一般国道 2 号福山道路

一般国道 2 号福山道路は、岡山市笠岡市茂平から福山市赤坂町に至る全長約 16.5km において都市計画決定された自動車専用道路です。

整備効果としては、市内の東西方向の連絡強化や移動時間の短縮、交通混雑の緩和及び災害時交通の代替路になることが期待されています。

現在、全長約 16.5km のうち約 3.3km ((仮称) 長和 IC～(仮称) 赤坂 IC 間) が事業化され、工事を行っています。

残る約 13.2km ((仮称) 笠岡西 IC～(仮称) 長和 IC 間) については、事業化されていません。

② 福山沼隈道路

福山沼隈道路は、福山市草戸町から熊野町に至る全長約 4.5km において都市計画決定された主要幹線道路です。

整備効果としては、一般国道 2 号福山道路と接続することにより、福山市中心部と市南西部及び沼隈町方面地域との連絡を強化すること及び災害時交通の代替路になることが期待されています。

現在、全線が事業化され、工事を行っています。

※①一般国道 2 号福山道路と②福山沼隈道路の整備イメージは別紙「一般国道 2 号福山道路及び福山沼隈道路整備イメージ」をご参照ください。

③ 福山西環状線

福山西環状線は、福山市瀬戸町から駅家町に至る全長約 8.9km において都市計画決定された自動車専用道路です。

整備効果としては、一般国道 2 号福山道路と国道 486 号とを連絡することにより、南北方向の交通処理を分担するとともに、市内の交通混雑の緩和と府中市を中心とする内陸部地域との連絡を強化すること及び災害時交通の代替路になることが期待されています。

現在、全線が事業化され、駅家町で工事を行っています。

④ 神辺水呑線

神辺水呑線のうち、福山市明神町二丁目から曙町一丁目までを結ぶ約 2km 区間は、高架道路の計画として都市計画決定された主要幹線道路です。

整備効果としては、市内の南北方向の連絡強化や移動時間の短縮、交通混雑の緩和が期待されています。

現在、この区間については、事業化されていません。

※④神辺水呑線の整備イメージは別紙「神辺水呑線と福山道路（仮称）手城 IC 付近の整備イメージ」をご参照ください。

※ 当該道路は、明神交差点（一般国道 2 号）、入江大橋南・北詰交差点を連続して立体交差する高架道路と側道の 2 種類の道路で構成され、高架道路は福山道路の（仮称）手城 IC と接続する計画となっています。